

中旬 ストロンチウム検出

3月 東京都が党都議団に回答

半減期が約29年あり、骨や筋肉に蓄積される放射性ストロンチウムが東京都内で検出されていたことが2日、明らかになりました。日本共産党都議団が10月28日に、都に対しストロンチウムの継

続的な調査・測定を求め、すでに測定している場合はその結果を公表するよう求めていたものに都が回答したものの。

検出されたのはストロンチウム90が1立方センチあたり0・0111

1倍。独立行政法人東京都産業技術研究センターが世田谷区駒沢の敷地内で3月15日に捕集した大気中を浮遊するちりを、日本分析センターに依頼し分析した結果、6月12日に分かっています。

回答で都産業労働局は、「健康面に影響を及ぼす影響が低く、問題となる値ではない」と判断したため公表しなかったとしました。

党都議団は都に、▽放射能問題については事実を都民に公表する▽放射線量が比較的高い都内東部地域や西多摩地域を含め、測定ポイントを増やす▽地表示、野菜、牛乳、魚、海底土などについてもストロンチウムの分析を継続的に行うべき

と判断したため公表しなかったとしました。党都議団は都に、▽放射能問題については事実を都民に公表する▽放射線量が比較的高い都内東部地域や西多摩地域を含め、測定ポイントを増やす▽地表示、野菜、牛乳、魚、海底土などについてもストロンチウムの分析を継続的に行うべき